



わくわくワークシート ③

チャレンジ！！ ★【 】に入る言葉や設問を考えてみよう！

1 AIにはいろいろな種類があり、それぞれの目的に【 】した専用のAIが活用されています。
しかし、それぞれのAIの開発には膨大な時間とコストが必要です。
そこで、“Hitachi AI Technology/H”は、既存のシステムに追加して【 】なニーズに対応することができる【 】が開発されました。人間が【 】を伝えれば、【 】の情報をヒントに自ら学習し結果を出してくれます。



2 “オーティコン オープン”は、従来の補聴器のように前方からの音や、一人だけとの会話にフォーカスするのではなく、周囲の【 】から使用者が聴きたい音を選び、それを自在に切り替えることができます。
【 】かつ【 】に処理した音の情報を届けることで、【 】の認知機能への負担も軽減します。



3 “土壌環境センサ”は、土に埋め込んで【 】【 】【 】といった土壌環境を計測するセンサです。センサ部表面に【 】性の膜を使うことで土壌中の水分と接触しやすくし、測定の信頼性を高めています。



Q. “土壌環境センサ”がネットワークにつながることで、どのようなことが期待されるか考えみましょう。

4 “ライメックスペーパー”は【 】と【 】を混合した素材から作られた新素材のストーンペーパーです。日本国内で自給率100%である石灰石を使用し、紙の製造に必要な水や木をほとんど使わずに作られます。
【 】性や【 】性に優れ、【 】も半永久的に可能で、従来のストーンペーパーと違い、軽くて、安くて、高品質です。